

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道112号 霞城改良
事業主体	東北地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比 (B/C) = 1.3 (経済的純現在価値 (B-C) = 77億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.1%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 5.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 196億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 22.7%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間b (当該区間/並行区間) について： 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間：21.8万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率：8割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間：城北交差点~大手町交差点 (上り方向) 現況：10.9km/h 七小前交差点~112号交差点 (下り方向) 現況：10.8km/h
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	山交バス本社前 (城西・十日町) 県庁前線、山交ビル (西田・瀬波) 山形病院 等 合計89便/日
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
	都市の再生	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		まちづくり交付金事業 (都市再生整備計画) 山形市中心市街地地区/H21.8	
<input checked="" type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		山形市中心市街地/山形市中心市街地活性化基本計画H26.11	
<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である			
<input checked="" type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		都市計画道路網密度：2.65km/km ² ⇒ 2.68km/km ²	
<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となる			

国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り		
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	寒河江市～山形市間（現況：26分）	
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	山形市へのアクセス性が向上（山辺町→山形市 現況：17分）	
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	花笠祭り（H25：90万人） 寒河江市～花笠祭り（現況：26分）	
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の場合において、当該区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	自転車交通量（H17）2,836台/12h、自動車交通量（H22）7,847台/12h、歩行者交通量（H17）5,409人/12h
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	位置付けあり
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	市街地の幹線道路において、無電柱化を実施
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
	災害への備え	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	当該区間は死傷事故率500件/億台キロを超過する交差点が2箇所
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	自動車交通量（H22）7,847台/12h、歩行者交通量（H17）5,409人/12h
	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	山形県緊急輸送道路ネットワーク計画において第1次緊急輸送道路に指定	
	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する		
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される			
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			

4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2 排出削減量 : 1,131 (t-CO2/年)
	生活環境の改善・保全	<input type="radio"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="radio"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	冬期旅行速度の向上

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道112号	霞城改良	L=1.3km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
28,900	4	東北地方整備局

① 費用

単位：億円

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	251億円	15億円	266億円
うち残事業分	51億円	11億円	62億円
基準年における 現在価値 (C)	271億円	5.7億円	277億円
うち残事業分	45億円	4.0億円	49億円

② 便益

単位：億円

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	18億円	2.0億円	0.7億円	21億円
基準年における 現在価値 (B)	307億円	34億円	12億円	354億円
うち残事業分	222億円	16億円	8.0億円	245億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	77 億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.1%
費用便益比（残事業）	5.0
経済的純現在価値（残事業）	196 億円
経済的内部収益率（残事業）	22.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	28900台/日	±10%	1.3~1.3
事業費	251億円	±10%	1.3~1.3
事業期間	16年	±20%	1.2~1.3

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	26400台/日	±10%	4.9~5.1
事業費	51億円	±10%	4.6~5.5
事業期間	3年	±20%	4.8~5.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道112号 霞城改良（全体）

（推計時点 H42年）

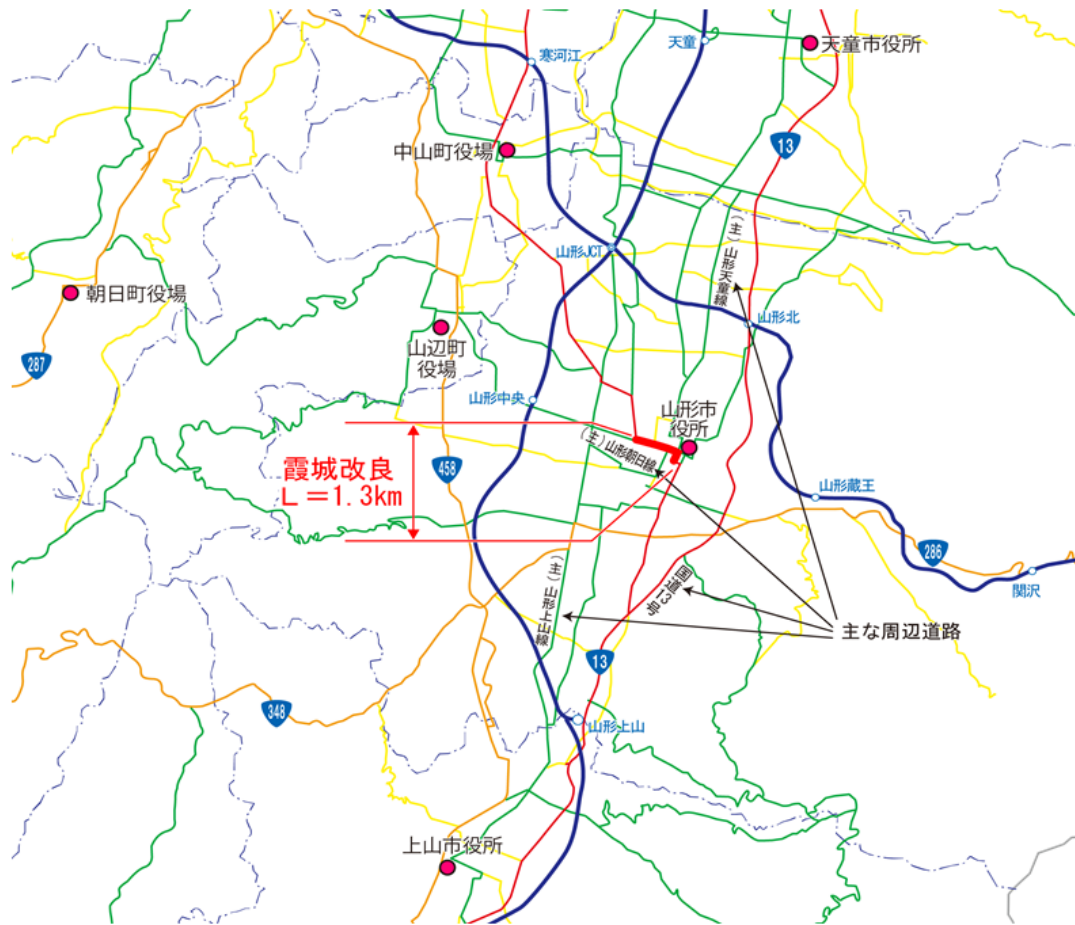
			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 霞城改良 延長：1.3km	交通量	[台/日]	23,100	28,900
	走行時間	[分]	4	2
	走行時間費用	[億円/年]	15.64	10.74
(主)山形朝日線 ：3.18km (主)山形天童線 ：7.6km (主)山形上山線 ：1.3km 一般国道13号 ：8.5km	交通量	[台/日]	14,700	13,300
	走行時間	[分]	7	7
	走行時間費用	[億円/年]	16.92	14.98
	交通量	[台/日]	20,600	20,200
	走行時間	[分]	17	16
	走行時間費用	[億円/年]	53.34	52.08
	交通量	[台/日]	33,000	31,700
	走行時間	[分]	3	3
	走行時間費用	[億円/年]	15.73	14.93
交通量	[台/日]	38,900	38,700	
走行時間	[分]	14	14	
走行時間費用	[億円/年]	97.14	96.04	
③その他道路合計 ：953.11km	走行時間費用	[億円/年]	1,729.25	1,722.91

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計	：974.99km	走行時間短縮便益 [億円/年]	1,928.02	1,911.68	16.34

：四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道112号 霞城改良（全体）

【 図面（①、②）に該当する道路）】



交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道112号 霞城改良（残事業）

（推計時点 H42年）

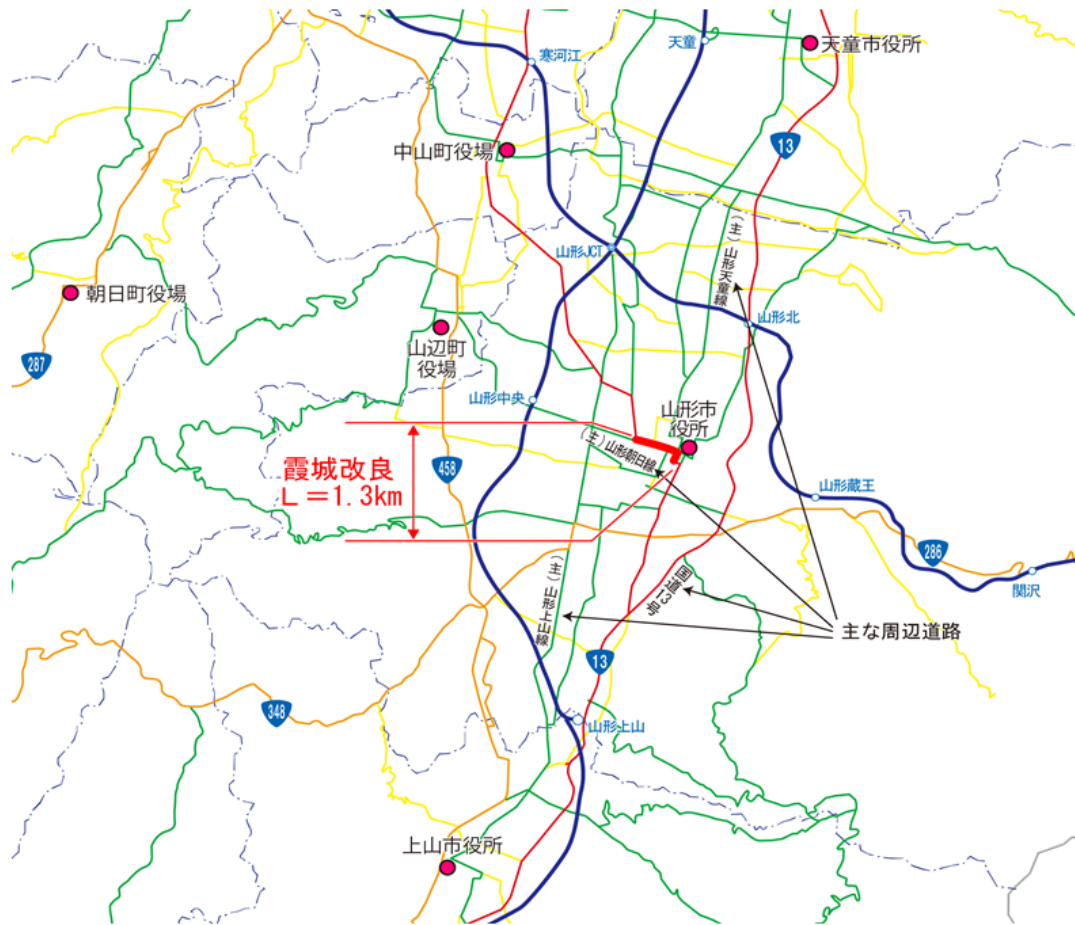
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 霞城改良 延長：0.9km	交通量	[台/日]	21,600	26,400	
	走行時間	[分]	3	1	
	走行時間費用	[億円/年]	10.10	6.36	
(主) 山形朝日線 ：3.18km	交通量	[台/日]	13,900	13,300	
	走行時間	[分]	7	7	
	走行時間費用	[億円/年]	15.99	14.98	
	(主) 山形天童線 ：7.6km	交通量	[台/日]	20,700	20,200
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	53.53	52.08
	(主) 山形上山線 ：1.3km	交通量	[台/日]	32,900	31,700
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	15.75	14.93
一般国道13号 ：8.5km	交通量	[台/日]	38,700	38,700	
	走行時間	[分]	14	14	
	走行時間費用	[億円/年]	96.11	96.04	
③その他道路合計 ：953.51km	走行時間費用	[億円/年]	1,731.96	1,727.29	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計	：974.99km	走行時間短縮便益 [億円/年]	1,923.44	1,911.68	11.76

：四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道112号 霞城改良（残事業）

【 図面（①、②に該当する道路） 】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道112号 霞城改良(全体・残事業)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成26年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年度)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)内の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 _____		() %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 _____	() 日
			とり止め交通を考慮する _____	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 _____ 当該区間を管轄する山形除雪ステーションの除雪機械稼働日数に より設定(H21～H25平均)	(102) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 走行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し、配分速度を 補正	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
中央分離帯の有無を考慮しない		<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道112号 霞城改良(全体)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.25	1.3	0.32	
年次	年度	割引率 H26	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-16年目	H 14	1.6010	103.8	0.19	0.27		
-15年目	H 15	1.5395	102.3	1.90	2.61		
-14年目	H 16	1.4802	101.0	5.71	7.64		
-13年目	H 17	1.4233	99.6	6.31	8.23		
-12年目	H 18	1.3686	98.7	17.09	21.64		
-11年目	H 19	1.3159	97.6	48.68	59.92		
-10年目	H 20	1.2653	96.8	29.24	34.90		
-9年目	H 21	1.2167	95.6	22.76	26.45		
-8年目	H 22	1.1699	93.7	14.53	16.56		
-7年目	H 23	1.1249	92.1	13.08	14.59		
-6年目	H 24	1.0816	91.3	16.15	17.47		
-5年目	H 25	1.0400	91.3	12.38	12.88		
-4年目	H 26	1.0000	91.3	11.31	11.31		
-3年目	H 27	0.9615	91.3	12.27	11.80		
-2年目	H 28	0.9246	91.3	13.75	12.71		
-1年目	H 29	0.8890	91.3	25.32	22.51		
供用年次	H 30	0.8548	91.3			0.30	0.26
1年目	H 31	0.8219	91.3			0.30	0.25
2年目	H 32	0.7903	91.3			0.30	0.24
3年目	H 33	0.7599	91.3			0.30	0.23
4年目	H 34	0.7307	91.3			0.30	0.22
5年目	H 35	0.7026	91.3			0.30	0.21
6年目	H 36	0.6756	91.3			0.30	0.20
7年目	H 37	0.6496	91.3			0.30	0.19
8年目	H 38	0.6246	91.3			0.30	0.19
9年目	H 39	0.6006	91.3			0.30	0.18
10年目	H 40	0.5775	91.3			0.30	0.17
11年目	H 41	0.5553	91.3			0.30	0.17
12年目	H 42	0.5339	91.3			0.30	0.16
13年目	H 43	0.5134	91.3			0.30	0.15
14年目	H 44	0.4936	91.3			0.30	0.15
15年目	H 45	0.4746	91.3			0.30	0.14
16年目	H 46	0.4564	91.3			0.30	0.14
17年目	H 47	0.4388	91.3			0.30	0.13
18年目	H 48	0.4220	91.3			0.30	0.13
19年目	H 49	0.4057	91.3			0.30	0.12
20年目	H 50	0.3901	91.3			0.30	0.12
21年目	H 51	0.3751	91.3			0.30	0.11
22年目	H 52	0.3607	91.3			0.30	0.11
23年目	H 53	0.3468	91.3			0.30	0.10
24年目	H 54	0.3335	91.3			0.30	0.10
25年目	H 55	0.3207	91.3			0.30	0.10
26年目	H 56	0.3083	91.3			0.30	0.09
27年目	H 57	0.2965	91.3			0.30	0.09
28年目	H 58	0.2851	91.3			0.30	0.09
29年目	H 59	0.2741	91.3			0.30	0.08
30年目	H 60	0.2636	91.3			0.30	0.08
31年目	H 61	0.2534	91.3			0.30	0.08
32年目	H 62	0.2437	91.3			0.30	0.07
33年目	H 63	0.2343	91.3			0.30	0.07
34年目	H 64	0.2253	91.3			0.30	0.07
35年目	H 65	0.2166	91.3			0.30	0.06
36年目	H 66	0.2083	91.3			0.30	0.06
37年目	H 67	0.2003	91.3			0.30	0.06
38年目	H 68	0.1926	91.3			0.30	0.06
39年目	H 69	0.1852	91.3			0.30	0.06
40年目	H 70	0.1780	91.3			0.30	0.05
41年目	H 71	0.1712	91.3			0.30	0.05
42年目	H 72	0.1646	91.3			0.30	0.05
43年目	H 73	0.1583	91.3			0.30	0.05
44年目	H 74	0.1522	91.3			0.30	0.05
45年目	H 75	0.1463	91.3			0.30	0.04
46年目	H 76	0.1407	91.3			0.30	0.04
47年目	H 77	0.1353	91.3			0.30	0.04
48年目	H 78	0.1301	91.3			0.30	0.04
49年目	H 79	0.1251	91.3	-84.10	-10.52	0.30	0.04
合計				166.57	270.97	15.00	5.74

単純事業費計	250.67	15.00
--------	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道112号 霞城改良(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.25	0.9	0.22

年次	年度	割引率 H26	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 27	0.9615	91.3	12.27	11.80		
-2年目	H 28	0.9246	91.3	13.75	12.71		
-1年目	H 29	0.8890	91.3	25.32	22.51		
供用年次	H 30	0.8548	91.3			0.21	0.18
1年目	H 31	0.8219	91.3			0.21	0.17
2年目	H 32	0.7903	91.3			0.21	0.17
3年目	H 33	0.7599	91.3			0.21	0.16
4年目	H 34	0.7307	91.3			0.21	0.15
5年目	H 35	0.7026	91.3			0.21	0.15
6年目	H 36	0.6756	91.3			0.21	0.14
7年目	H 37	0.6496	91.3			0.21	0.14
8年目	H 38	0.6246	91.3			0.21	0.13
9年目	H 39	0.6006	91.3			0.21	0.13
10年目	H 40	0.5775	91.3			0.21	0.12
11年目	H 41	0.5553	91.3			0.21	0.12
12年目	H 42	0.5339	91.3			0.21	0.11
13年目	H 43	0.5134	91.3			0.21	0.11
14年目	H 44	0.4936	91.3			0.21	0.10
15年目	H 45	0.4746	91.3			0.21	0.10
16年目	H 46	0.4564	91.3			0.21	0.10
17年目	H 47	0.4388	91.3			0.21	0.09
18年目	H 48	0.4220	91.3			0.21	0.09
19年目	H 49	0.4057	91.3			0.21	0.09
20年目	H 50	0.3901	91.3			0.21	0.08
21年目	H 51	0.3751	91.3			0.21	0.08
22年目	H 52	0.3607	91.3			0.21	0.08
23年目	H 53	0.3468	91.3			0.21	0.07
24年目	H 54	0.3335	91.3			0.21	0.07
25年目	H 55	0.3207	91.3			0.21	0.07
26年目	H 56	0.3083	91.3			0.21	0.06
27年目	H 57	0.2965	91.3			0.21	0.06
28年目	H 58	0.2851	91.3			0.21	0.06
29年目	H 59	0.2741	91.3			0.21	0.06
30年目	H 60	0.2636	91.3			0.21	0.06
31年目	H 61	0.2534	91.3			0.21	0.05
32年目	H 62	0.2437	91.3			0.21	0.05
33年目	H 63	0.2343	91.3			0.21	0.05
34年目	H 64	0.2253	91.3			0.21	0.05
35年目	H 65	0.2166	91.3			0.21	0.05
36年目	H 66	0.2083	91.3			0.21	0.04
37年目	H 67	0.2003	91.3			0.21	0.04
38年目	H 68	0.1926	91.3			0.21	0.04
39年目	H 69	0.1852	91.3			0.21	0.04
40年目	H 70	0.1780	91.3			0.21	0.04
41年目	H 71	0.1712	91.3			0.21	0.04
42年目	H 72	0.1646	91.3			0.21	0.03
43年目	H 73	0.1583	91.3			0.21	0.03
44年目	H 74	0.1522	91.3			0.21	0.03
45年目	H 75	0.1463	91.3			0.21	0.03
46年目	H 76	0.1407	91.3			0.21	0.03
47年目	H 77	0.1353	91.3			0.21	0.03
48年目	H 78	0.1301	91.3			0.21	0.03
49年目	H 79	0.1251	91.3	-17.06	-2.13	0.21	0.03
合計				34.28	44.89	10.50	4.03

単純事業費計	51.34	10.50
--------	-------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

